

報道発表資料の配付日時 11月25日(金) 17時00分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について (陽性確定、網走市及び斜里町、道内6例目及び7例目)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 11月16日に網走市内で回収された死亡野鳥(オオセグロカモメ)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。(今シーズン道内6例目)</p> <p>○ 11月16日に斜里町内で回収された衰弱野鳥(ハシブトガラス)1羽について、環境省から、本日、国立環境研究所で実施した遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が確認された旨、連絡がありました。(今シーズン道内7例目)</p> <p>〈今後の対応〉</p> <p>(1) オホーツク総合振興局は、野鳥監視重点区域において、野鳥の大量死等の有無について監視を強化します。</p> <p>(2) 各回収地点から半径3kmの区域内には立入検査を必要とする家きん飼養農場はないことを確認済みです。</p> <p>(3) オホーツク総合振興局海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>※別添資料 令和4年シーズンの野鳥の鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。		
報道(取材)に 当たって のお願い	<p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農家における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、養鶏場への取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むようご協力をお願いいたします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付 同時レク	北海道(野生動物対策課)	
担当 (連絡先)	<p>・北海道オホーツク総合振興局保健環境部環境生活課長(担当者:橘) TEL:0152-41-0626</p> <p>・北海道オホーツク総合振興局産業振興部農務課長(担当者:森) TEL:0152-41-0660</p> 		

令和4（2022）年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況
（令和4年10月～）

本件	○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	野鳥1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類	/	/	/	高病原性
	野鳥2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類	/	/	/	高病原性
	野鳥3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	/	/	高病原性
	野鳥4例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	野鳥5例目	11/10	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥6例目	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥7例目	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
●	野鳥8例目	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	陽性	高病原性
	疑い	11/19	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	検査中	
	疑い	11/20	釧路	釧路市	衰弱野鳥	タンチョウ	1	/	陽性	検査中
	疑い	11/21	渡島	八雲町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	
	疑い	11/23	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	検査中	
	疑い	11/24	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	検査中	